



手を貸そう

Lend a Hand

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

第 2560 地区ガバナー

…………… 原 信一
会長 …………… 佐野 勝 栄
会長エレクト …………… 渡 辺 喜 彦(クラブ奉仕 A)
副会長 …………… 小 越 憲 泰(クラブ奉仕 B)
幹事 …………… 荻根沢隆雄
SAA …………… 杉 山 幸 英
会計 …………… 渋 谷 正 一

例 会 日 …………… 毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び …………… 三条市旭町 2 - 5 - 10
事 務 局 …………… 三条信用金庫本店内
例 会 場 …………… TEL 35 - 3311
事 務 局 …………… TEL 35 - 3477
FAX 32 - 7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp

web: <http://www.soho-net.ne.jp/rotary/>

(は shift を押しながら“へ” のキーを押してください)

本日の出席会員数	63名中47名
先々週出席率	81.36%

会 長 挨拶

佐野 勝 栄 会長



皆様こんにちは、去る8月6日の例会で我がクラブより推薦した、ロータリー国際親善奨学生として1年間イギリスのコペントリイという小さな町にあるボーリック大学へ英語を学びに送り出した三条市柳沢にお住まいの新潟大学大学院生の田中真由美さんから、お礼と近況のお便りが届いています。今月はロータリー財団月間です。皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

さて、県央地域の合併も当初燕市を含めた5市町村の枠組みから、皆さんもご承知の通り、燕市が離脱し、燕市長が退任、残る4市町村での合併協議会を改めて設置しましたが、ここへ来て、田上町の住民意向調査で合併反対が61%にも上り、佐藤田上町町長はまたしても、合併協議会から離脱する事を昨日表明しました。残るは3市町村だけになってしまいました。新潟市は政令都市を目指して大合併をしよう

ピジター

三条RAC 丸山正高さん 佐藤俊光さん
小林克則さん

先週のメイクアップ

11/20 巻へ 加藤紋次郎さん
11/21 吉田へ 加藤紋次郎さん
11/23 ローターアクト年次大会(新井)へ
橘 直樹さん
11/25 三条北へ
熊倉昌平さん 渋谷正一さん
高森章仁さん

としているのに比べ、なんとこの県央地域は住民の意識の違い、まとまりがない地域と誰もが感じると思っています。先日、23日田上町で第4分区の会長・幹事会が行われました。その席でも田上町と合併となれば三条のロータリークラブが4つできた事になりますね、などと藤田 AG と話していた矢先でした。会員増強についてもぐっと広域で募る事も出来ますし、下田地区、栄地区にも新クラブ誕生も現実味を帯びて来た所へ、足元から崩れる結果が出てしまいました。誠に残念な事と思います。

今年もあと1月余りで終えようとしています。長く低迷した景気もこの夏ごろから株価も1万円台を回復し、自動車、電気産業はリストラ、輸出好況で大幅増益になり、国内景気も底を脱した感がありましたが、ここへ来て再び1万円割れを生じ、またしても今後の景気が不透明になり、先行き不安材料になっています。小泉首相は構造改革の成果が出て経済が上向きになっていると言っていますが、この2年半余り経済対策に殆んど手を打たず、少し国内経済が持ち直したのは大企業の大規模なリストラや各企業の自助努力の結果であり、今年に入って収益を確保するに至っているのは言わずと知れずでしょう。飛行機にたとえると、大企業である前輪が離陸しているのに後輪の中小企業はまだ離陸できず、もがいているのが今日の日本経済の状況と、どなたかおしゃっていましたが、まさしく、中小企業は数少ない人材で営んでいるため、大事な人材をリストラなどできない状況の所へさらなるコストダウンを要求され、依然厳しい経営が続いているのが現状と思われまます。

デフレ経済とはいえ、何でも安ければいいとは限りません。ブランド製品や品質、内容がしっかりした物や、高い製造技術でノウハウがある付加価値のある製品などは大きな値引きをしなくても十分競争力があります。特に中国では日本の製品の大半を作れると聞いています。中国で生産する製品を日本で造っても価格競争力で勝てる見込みがなく、このような製品は中国へシフトせざるを得ないかもしれません。しかし、余力のある企業は中国へシフトできますが、そこまで至らない企業はことごとく安い中国製品と価格競争の渦へ巻き込まれるでしょう。日本の全ての製造業が日本でしか造れない付加価値のある製品を造っている訳でなく、国内の産業空洞化が今後一層進むのではないかと危惧されます。技術立国日本、勤勉で有能な日本人であるからにして、世界に先駆け、近未来の新しいテクノロジーを開発して市場に送り出し、再び経済大国としてのゆるぎない地位を確保できると信じていますが、国際的なグローバル経済になっただけに経営の意思決定スピードは年々早まっている感があります。

この様な厳しい状況ですが、元気を出して乗り切っ

てまいりましょう！それにはまずクラブ例会に出席する事です。会員同士が親睦と情報交換を大いにされて経営に前向きな活力となればと思います。

幹事報告

荻根沢隆雄幹事

環境NPO良寛より

「環境・エネルギープロジェクト発表会」

のご案内が届いております。

とき 11月30日(日) PM1:00~

ところ 新潟県県央地域地場産業振興センター

ニコニコBOX

佐野勝栄さん

ローターアクトの皆さん、ライラ研修ご苦勞様でした。

菊池 涉さん

三条別院の「おとりこし」の中故、植樹例会・社会奉仕委員にも拘わらず・欠席でした。

平原信行さん

佐野会長より親睦旅行の写真をいただきましたので。

西山徳厚さん

渋谷さんより誕生祝の写真を撮って頂き、本人も良いが、写真はもっと良いとほめられました。

五十嵐 力さん

先日、同窓生の会でゴルフ大会8人参加、優勝しました。ハンディ32と下手になっても、ハンディの下がったお陰です。

杉山幸英さん、橘 直樹さん

ローターアクトの皆さんを歓迎いたします。

明田川賢一さん 佐藤 武さん 中村和彦さん

都合により早退致します。

11月26日分 ￥11,000

今年度累計 ￥449,000

卓 話

「新世代のための月間」ライラ研修報告



三条RAC 小林 克則会員

こんにちは。
三条ローターアクトクラブの小林です。

日頃、ローターアクトクラブにご理解と御支援を賜り大変感謝しております。今日は、先月行われました、ライラ研修の報告をさせていただきます。

研修は10月11.12.13日の三日間、山北町にて村上ロータークラブさんがホストクラブとなり行われました。今回のテーマは、

**今が出発点「聞く、見る、実行」そして感動を、
やろうよ、Lend a Hand**

というテーマでした。プログラムでは3日間にわたってびっしりといろいろな方の講演が用意されていました。講演内容には環境について、会社経営者の人生観について、市町村合併について、お坊さんの話、以前やくざの世界で今は牧師をしている方の話など自分では経験することのない話などがあり、物事のコレを学ぶいい機会となりました。また、講演のほかに新潟県と山形県の県境にある日本国山、標高555メートルの登山等もあり、多岐にわたったプログラムが用意されていました。3日間の生活といえますと、今回の山北町には大規模な研修室がないため宿舎は4箇所、食事は3箇所に分散しており、そのたび毎に移動が伴う為、最初は非常に不便な土地での開催だなという感じがありました。

私が今回の研修に行って一番感じたことは、いろいろな方の講習も素晴らしいものでしたが、岩船の老人の方が昔話をされた時間でした。その方は女性の方で70歳は廻っていましたが毎日畑仕事をする傍ら、数年前から語り部にならないかと誘われ、今では地域の子供に話をされたり、話のレパトリーを広げる為に勉強をしたりしているということでした。私はこのおばあさんの話し振りや経験、普段の生活についての話を聞いていて気づかされた点がありました。

一つは不便だと感じた研修生活でしたが、自分の生活が物に満ちあふれ、チョッと何かがないと不満を漏らす自分に気づいたことです。この老人は勉強のために40キロ近く離れた村上まで、車には乗れない為電車に通っているとのことでした。もう一点は、こういった活動をやりつづけ、次の世代に継承しようとする姿です。もしかしたら、昔の苦しい時代を歩んでき

たからこそ、そういう話ができるのかもかもしれませんが、多くの逸話や昔話を研究し後世に残す為に指導をされるということです。

私は今回の研修を通して本当に参加してよかったと思いました。なぜなら、毎日の生活において不景気といわれていても物に不自由せず何かがないと不満を言う自分の心と物の価値観がずれていることに気づいたからです。もしかしたら、チョットだけですが、自分の心に余裕が生まれてきたように感じました。そして今回の研修に参加させていただき感じた事は、「思ったことには積極的に参加しないと何も生まれない」ということです。私は事業所会員であり、はじめの頃はやらされているという思いから積極的にはなれなかったのですが、今は違います。県内各クラブに友人もでき、いろいろな職種・立場の方と意見交流ができる点、イベント企画においての交渉など普段の仕事だけの生活だったらできないことをアクトに入会して経験することができてよかったと思っています。そして良かったと思う点をより多くの方々に知っていただき、ライラへの参加を勧めることが参加した人の役目だと思いました。

先日23.24日の2日間新井市で地区大会が行われました。式典、懇親会もスムーズに行われました。来期はローターアクトでは中越地区が地区協議会、地区大会を企画、運営をすることとなります。非常に大変な準備が必要になるかと思いますが、楽しみながら経験を積みたいと思っています。どうかロータリ안의皆様の周りにアクト対象の方がいらっしゃいましたら、こういったクラブ活動を通して学ぶことが多くあると思いますので、ご紹介していただければな、と思います。アクトが駄目でも、来年はライラ研修に三条の多くの若い人に参加してもらえればと思います。

最後に、ライラの話かアクトクラブへの勧誘話なのか本当に支離滅裂となりましたが、これで私のライラの報告とさせていただきます。

参加させていただきまして、ありがとうございました。



三条RAC 丸山 正孝会員

みなさんこんにちは。
三条RAC会長の丸山です。
今回、私もさきほどライラ研修の報告をしてもらった小林と、佐藤と一緒に参加させていただきました。

仕事の都合上、参加したのは後半の二日間だけでした。今年のライラ研修は、講演会がたくさん行われ、それを聞くというのが主な研修内容だったと思います。人生の先輩方が、ステージで熱心に話さ

れているのを聞いて、いろいろ得られるものがありました。その中で、特に興味を引いたのが、

「やろうよ！ やりたいこと」

“Do it! What you like to do!”

のテーマで話された、スキーのモーグルスクールの経営者として活躍されている角皆さんの講演です。この方は講演の中で、人生で最も感動させられた人物について熱心に話されました。それは自分が経営するカナダのスキー学校での話で、全くスポーツの才能のかけらもない鈍臭い男が十数年後に世界のスキーヤーの頂点に立ったというお話です。

その男の名はコリーといい、見た目も服装も言動もすべてがダサくて、世界のチャンピオンになるには程遠い男でした。そんな無い無いづくしの彼でしたが、ひとつだけ世界中の誰よりも心に強く持っていたものがありました。それは自分の好きな事に対する情熱でした。今の日本人の若者には、この何かを成し遂げてやろうとする情熱を持った人が非常に少ないと角皆さんは危惧しておられました。角皆さん自信も、二十歳くらいの頃生きる目標を失ってしまい、自殺を考えた時期もあったと話されていました。それがふとしたきっかけでスキーとめぐり合い、今日に至るまでの半生をいろいろ語ってくれました。その話を聞いて私も是非自分の視野をもっと広げるためにも、いろいろなことに挑戦していこうという意欲が沸いてきました。私は、今現在三条 RAC の会長を務めさせてもらって、他の若者にはできないような貴重な体験を積み重ねてもらっています。それだけでは物足りなくて、その他にも二年前から英会話を習い始めて、今もなお勉強しています。仕事やロータリーアクトの行事で忙しいときなどは、英語の勉強がおろそかになってしまいがちですが、コリーさんの話を聞いて再び継続していこうという気力が沸いてきました。私の目標は、アメリカ・イギリスのニュース・新聞などを日本語訳なしで理解できるくらいまで上達することです。とにかく、いろいろなことに挑戦できるのは20代だけだと思うので、何事をするにしても努力を惜しまず頑張っていきたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。



三条RAC 佐藤 俊光会員

こんにちは、三条ロータリーアクトクラブ、幹事の佐藤です。ただ今、小林君、丸山君が話しをされたとおり今回のライラ研修の開催地・流れはお聞きになった通りです。

私は、今回参加させてもらい二度目のライラ研修でした。初めて参加した時のライラ研修は妙高だった

んですが、みんなで体を動かし体験するライラ研修でした。そんなイメージで、今回も参加したのですがしかし、まったくと言っていいほど逆の講習が主のライラ研修でした。でも思っていた以上に講師の方も素晴らしい方ばかりで話が面白かったり考えさせられたりで、これはこれで非常に良い研修だなーと思いました。

内容も良かったのですが、やっぱりアクトのメンバーや一般の企業から来られた人達と色々な話が出る事と開催地のロータリアンの方や地元・山北町の人達との交流が、前回・今回参加させてもらって、この研修の良いところだなーと感じました。とても有意義で楽しい研修でした。ありがとうございました。最後に先般ご案内の方をさせてもらっていました

「長久の家との餅つき大会」を、12月4日(木)7:00より長久の家のほうで行います

ので、多数のご出席をお待ちしております。以上です。

世界社会奉仕(WCS)プロジェクト完了のご報告

高橋 信行 WCS 委員

秋玲の候、各ロータリアンの皆様には、益々ご活躍の事とお喜び申し上げます。

さて、当 2560 地区では、今年度の世界社会奉仕(WCS)事業として、新発田ロータリークラブの提案により、第 2660 地区(大坂)と共同で、タイ国の王母殿下の推進されるタイヤラック乳がん財団とラーシン国立病院へ医療機器を贈呈するプログラムを進めて参りました。当 2560 地区からは、ガバナー事務所をはじめ、7つのロータリークラブの参加を頂きました。

去る平成 15 年 11 月 4 日午前、乳がんセンターに於いて機器購入資金の贈呈式を、そして午後、ラーシン国立病院に於いて腎臓透析機の贈呈式が行われ、新発田ロータリークラブより6名、茨城西ロータリークラブより5名が出席いたしました。

各病院では、購入した医療機器に参加ロータリークラブの名を記したプレートを取り付ける事とし、現物を確認致しました。タイ国では経済的発展は著しいものが有りますが、昔の日本と同様、公共の医療サービスは立ち遅れ、貧しい人たちは高度の医療を受けることが難しく、そうした人々の医療を行う公立病院の資金難に苦しみ、ロータリークラブからの援助に対して、各病院の理事長さん・院長さんから心からの感謝の言葉を頂き、私達も努力が報いられた思いが致しました。

夕刻には、スアンルワンロータリークラブ(交換留学生フィアットさんのホームクラブ)での例会に出席し、

共にWCSプログラムの完成を祝い、お互いに友情を深める事が出来ました。この度のWCSプログラムの完成はガバナー事務所のスタッフ、そして当 2560 地区、各ロータリークラブ皆様のご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

又、実施に至るまでの作業は新発田ロータリークラブの篠田昇国際奉仕委員長、そして大坂茨城西ロータリークラブの宮里唯子会員が真剣に取り組んで頂いた事を申し添えます。

この度のタイ訪問は、地区大会の翌日出発という日程の為、参加頂けなかったクラブがほとんどでしたが、年が明けてから3月頃、第1区分の3クラブがタイを訪問する予定ですので、その時に参加頂ければ、WCS事業の現場を体験する良い機会になると存じます。折角、各ロータリークラブより資金を頂いたのですから、是非共、現地へ赴き、その成果を確認し、新しい友人に出会い、友情の環を広げて頂きたいと考えて居ります。改めてこの度のWCSプロジェクトに参加された各位に御礼申し上げ、ご報告とさせていただきます。

追伸:タイの 2 つの病院より各ロータリークラブ宛の領収書を預かって参りましたので、写真の一部と一緒に同封致します。

(文責:高橋 信行さん)



各ロータリークラブ宛の領収書



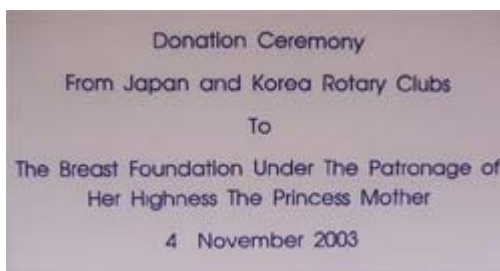
中央目録を受け取るガンセンター院長
後方半そで かつての交換留学生フィアットさん



病院内



贈呈式 ラーシン国立病院にて



贈呈式の会場看板



腎臓透析機についてのプレート



タンヤラック財団



12月のお祝い

会 員 誕 生

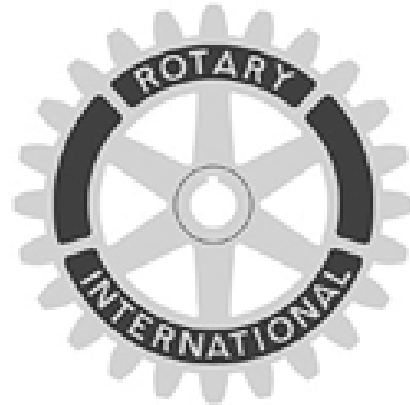
6日 猪口 英夫さん
10日 広岡 豊作さん
22日 早川 昭雄さん

御 夫 人 誕 生

11日 清水 節子(良一)さん
17日 柳取 恵(崇之)さん
18日 荻根沢 愛子(隆雄)さん
18日 菊池 まゆみ(涉)さん
25日 佐藤 成子(武)さん

結 婚 記 念

4日 渋谷 健一さん・トヨさん
6日 猪口 英雄さん・香代子さん
9日 杉山 幸英さん・敏子さん



次週例会 12月10日(水) 外部卓話



次々週例会 12月17日(水) ファミリークリスマス

PM6:30~ 於:VIP

